

大盛況！田んぼアート秋祭り

秋の果実とグルメ堪能

フルーツの販売と説明をしている町魅力PRボランティアの生徒



田んぼアート実行委員会は9月6日(土)、グリーンロードにおいて初となる「かがみいし田んぼアート秋祭り」を開催しました。

当日は、まだ残暑が残るなか1,000人を超える人たちが訪れ、キッチンカーでの買い物や金魚すくいなどの催しを楽しみました。

また、秋に旬を迎える果物が並ぶブースには、多くの方が足を運び、梨などを買い求めていました。

イベントでは、町魅力PRボランティアの生徒(岩瀬農業高校)もスタッフとして催しを盛り上げました。

金魚すくいを楽しむ参加者



マルシェで買い物を楽しむ参加者

町地域連携事業「けんこうフェスタ」

食や健康に触れる

郡山女子大学×鏡石町主催の町地域連携事業「けんこうフェスタ」が8月24日(日)に町健康福祉センターで開催され、約650名が来場しました。

当日は、南東北病院予防医学研究センター柿沼雄二氏による予防医学の重要性をテーマとした講演のほか、郡山女子大学の学生による血圧や骨密度、足趾把持力などの健康測定、郡山女子大学附属高校の生徒による町産のイチゴで作ったジャムの販売や飲み物の提供(試飲のみ)などが行われました。来場者は、食や健康に触れ、催しを楽しみながら健康と食への理解を深めてました。

会場いっぱい集まった参加者



予防医学の重要性について講演を聴く参加者



健康測定を受ける参加者

2025 かがみいし田んぼアート 観覧者数2万人達成！

9月6日(土)、今年の田んぼアートの観覧者数が2万人に達したことから、観覧場所の図書館4階展望室でセレモニーが行われました。

2万人目となったのは、郡山市の先崎康二さんご家族で、かがみいし田んぼアート実行委員会の和田和久実行委員長から鏡石町産の梨、米粉、牧場のあーさー♪グッズ(ぬいぐるみ、うちわ)が贈られました。

来場者2万人目となった先崎さんご家族に記念品を手渡す和田実行委員長(左)



市町村対抗福島県ソフトボール大会 壮行会で士気を高める

第12回市町村対抗福島県ソフトボール大会に出場する鏡石町チームの選手壮行会が8月30日(土)、鳥見山野球場で行われ、選手たちが大会に向けて士気を高めました。

式では、竹山正貴監督があいさつをし、木賊正男町長から割栢信義代表に町旗が伝達されました。初戦は10月4日(土)、相馬光陽ソフトボール場で去年も対戦し、勝利を収めた双葉町チームと対戦します。



大会に向けて士気を高める町代表チーム

宝くじ助成金活用 鏡田「盆踊り大会」盛況

鏡田区と鏡田盆踊り保存会の「盆踊り大会」が8月14日(木)と15日(金)に鏡田転作センター駐車場で開催され、盆踊りのほか射的や輪投げコーナーなど用意された催しに約800人が集まり、賑わいをみせました。

今年は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し、宝くじの助成金で和太鼓や法被、提灯などを新調しました。



櫓の周りで踊る参加者

認知症サポーター養成講座 認知症へ理解深める

認知症サポーター養成講座が9月9日(火)、鏡石中学校3年生を対象に実施され、認知症への理解を深めました。新しい認知症観(※1)に立ち、認知症サポーターの役割や認知症の人との接し方などについてロールプレイ等を通して学びました。

受講した生徒には、受講証明としてオレンジリングとサポーターカードが配布されました。



認知症の人との接し方について説明を受ける生徒

※1 新しい認知症観 認知症になると何もできなくなるという考えではなく、できること・やりたいことがあり、地域で仲間とともに希望を持って自分らしく暮らすことができるという考え方。